



## 歯科医・彌勒寺寛之の 後悔しない 歯科治療の受け方

### 第7回

## 「一つの小さなミスが招いた、 年25万円の損失」

こんにちは。土沢デンタルクリニック院長の彌勒寺です。ところで皆さん、国民一人当たりの年間の医療費はいくらになるか知っていますか? 勤の鋭い方はタイトルを見てお気づきのとおり、年間約25万円になります。そして年々増え続けてきています。これを聞いて「私はほとんど病気になったことがないから得してる」「私はもっと払ったわ」など、皆さんそれぞれ何か感じると思います。そんな中、今まで意識せず得していた(=健康な)方はなかなか気づきにくいのですが、そうでない(=医療費という授業料を払って健康の大切さを学ぶことができた)方も、皆さん「できるだけ健康でいたい」という潜在的な願いは同じだと思います。特にここ最近、歯科の分野では痛い歯を削って詰める治療よりも、口からおいしく食べて健康で豊かな生活を送るためのお手伝いをする、いわゆる予防中心の歯科医院が増えつつあります。ただ、歯磨きなんて面倒臭いし、歯なんてたくさんあるから多少なくなっても気にしないし、まさか歯が原因で死にはしない、と思っっている方もまだまだいらっしゃいます。今回は「歯なんて痛くなければそれでいいんだ」というそんな考え方一つのミスによって生じてしまう医療費の増加、なかでも特に歯周病がもたらす体の病気との関係についてお伝えしていきます。歯周病と関連のある全身疾患は、現在わかっているだけでも①骨粗鬆症、②糖尿病、③心臓病、④肺炎、⑤早産が挙げられます。

#### ①骨粗鬆症

骨粗鬆症とは閉経後の女性に多く見られる病気で、全身の骨の密度(強度)の減少がみられます。これはエストロゲンというホルモンの分泌が50歳前後の閉経を機に減少するためといわれています。そしてそれが顎の骨や歯を支える骨の密度(強度)も同様に影響を与え、歯周炎による歯周組織の破壊に拍車をかけます。骨粗鬆症の治療も大切ですし、そもそも歯周炎にならないように日頃から定期健診などで歯周病を予防することが大切だと思います。

#### ②糖尿病

糖尿病とはインスリンというホルモンによる血糖値の調整がうまくできなくなってしまった状態で、進行すると視力低下、腎臓の機能の低下、神経障害、その他合併症を引き起こす病気です。歯周組織でも糖尿病による免疫機能の低下や炎症を起こす物質の過剰生産などにより、歯周病菌に感染しやすくなり、組織の破壊が起こりやすくなります。また、逆に歯周病も糖尿病に影響を与え、糖尿病患者の歯周病を治療することで、血糖コントロールが改善することもあることもわかっています。

今回はここまで。続きは次回「歯周病と体の病気の関係」です。お楽しみに。

### 次回 歯周病と体の病気の関係



～著者プロフィール～

土沢デンタルクリニック院長 彌勒寺 寛之 (みろくじ ひろゆき) 1979年東京生まれ  
住 所 宇都宮市本丸町11-12 T E L 028-634-5141 (URL) <http://tda86.com>  
所属学会

日本口腔インプラント学会 日本歯科審美学会 日本歯周病学会  
日本小児歯科学会 日本ヘルスケア歯科研究会

※学会で得た知識を活かして、個人的に無料相談室を開設しました。

お口のことで疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にご相談下さい。

当クリニックのホームページからメールで受け付けています。

(この無料相談室は予告なく終了することがありますので、ご了承下さい。)

